

## 松谷会長記者会見の概要

日 時：令和3年11月12日（金） 15時00分～15時20分

場 所：（オンライン記者会見）

記者：

上場投資信託（ETF）について2点伺いたい。1点目、日本銀行の買入金額がいくらだったのか。2点目、機関投資家の購入が活発であったようだが、どのような狙いで購入しているかについて考えを伺いたい。

また、東京証券取引所の株式の取引時間延長が正式に決定、公表された。協会の所見を伺いたい。関連して投資信託の基準価額算出に関する課題があると考えているが、協会としてどのような対応を検討しているかについて教えてほしい。

川本統計情報室長：

まずETFの質問に回答する。日本銀行の買入額は701億円であった（10月1日に実施）。

市倉広報部長：

機関投資家によるETF購入の目的として、現物株式よりETFで保有したいという動機、また裁定取引等に伴う買い需要であると思われる。

松谷会長：

東証の取引時間延長は、東証のシステム障害に端を発して、市場のレジリエンス（復元力）を高める観点で議論が為され、30分延長となった背景がある。協会ではこれを受け、ワーキンググループを立ち上げて真摯に対応していく所存である。これを機に、投信業界全体として業務効率性の向上や、デジタル化の推進等を図っていきたい。

記者：

毎月決算型ファンドについて伺いたい。「投資信託の主要統計等ファクトブック」の「9. 毎月決算型ファンドの純資産総額等の推移」を見ると、純資産総額は減少傾向にあったが、2020年から若干増加している。トレンドに変化があったとまでは明確に言えない状況と考えるものの、予想分配金提示型ファンドの販売が好調といったことが背景にあると推察しているが、協会の考えを教えてほしい。

川本統計情報室長：

ご推察の通り、予想分配金提示型ファンド等の需要の高まりが、今回の結果に反映されているものと考えます。

記者：

毎月決算型ファンドは、過去様々な意見があり、減少傾向が続いていた。その後、分配金の在り方を見直し、商品性を工夫することで、予想分配金提示型の毎月決算型ファンドが出

てきたという経緯があると考えている。このような商品についてどのようにお考えか伺いたい。

松谷会長：

高齢者の投資家層に、分配金が一定のニーズがあることについては従前より把握している。運用サイドでは、従来型の毎月分配型商品を経て、予想分配金提示型の開発に至っている。また販売サイドにおいては、引き続き、お客様へリスクを含めた商品性を正確にご説明し、ご理解いただくこと、そのお客様の投資目的に合った商品を提案していくことが重要と考えている。

記者：

東証の取引時間延長について追加で伺いたい。資産運用会社より、午後の取引時間が30分延長することで、基準価額の協会宛て報告時限である20時を前提とした事務運営が厳しい、という意見があった。協会宛ての報告時限が今後の検討対象となるのか教えてほしい。また現時点における、協会としての課題認識や、議論の進め方について教えてほしい。

松谷会長：

時限の件は、運用会社単独で解決できる課題ではなく、東証、販売会社といった関係者と連携をとって議論を進めていく必要があると考えている。東証の取引時間延長の件に関しては、今後議論の進展等があった場合等は、適宜お伝えしていきたいと考えている。

記者：

証券会社等の決算をみると、投資信託の販売チャンネルは対面が中心であったが、ネット証券の台頭が顕著であり、売られ方の変化があったように思われた。この点について協会の見解を伺いたい。

松谷会長：

販売が変わってきた、というより若年層を中心とした新しい投資家が、ネット証券を通じた取引を開始し、その量が増えたことが主因であると考えている。かなりの口座数がネット証券で開設されており、基本的には少額で長期・分散・積み立てという方針で投資をスタートしていることは、素晴らしいことと思っている。一方、40、50歳台もしくはシニア層の、多様なライフシミュレーションのなかで、どのような資産形成をしていくか、というケースには対面型によるアドバイスを行うことに注力するなど、チャンネルの多様化が進んだ、という評価をしている。

市倉広報部長：

協会からお知らせさせていただく。来年度の学習指導要領の改訂により、高校の家庭科で投資の授業がスタートする。副教材として投資の本質を学べる「16歳の自分に教えたいお金との正しい付き合い方」をテーマに5人の方々に語っていただいた動画を作成した。1時間のダイジェスト版をご覧いただきたい。

(動画ダイジェスト版の放映)

市倉広報部長：

以上がダイジェスト版であるが、フルバージョンとして各 30 分程度の動画を協会 HP にて逐次公開している。協会では金融経済教育に積極的に取り組んでおり、一部の高校の授業ではこの動画が先行して使われているが、好評を博している。

松谷会長：

この動画は、ぜひ記者皆様のみならず、ご家族の方等にもご紹介いただきたい。N 高等学校というユニークな学校で授業を行ったが、430 名もの生徒からアンケートをいただき『(お金を) うまく使えば未来は明るくなるのだなと思った』『生活を少し豊かにするために、投資があることを知った』など、素晴らしいコメントが返ってきている。これから金融機関を含めて教材を作っていくことになると思うが、生徒には「投資の本質」を理解してもらいたいと考え動画を作成した。自戒の念もあるが、一般的に投資といえば『老後が心配だから資産形成をしよう』『長期・分散・積み立てが良い』といった貯める・増やすのテクニカルな話から入りがちであるが、このやり方では多くの人はスタートラインにすら立てないのではないかと思う。人生の中で、投資や資産形成のことを考えるチャンスはそう多くない。そのためテクニカルな話の前に、「投資の本質」の話をしっかりと頭に入れていただくことが大切だと改めて感じている。非常に良いコンテンツができたと思っているので、ぜひ記者の皆様におかれては広く紹介いただきたい。

以上